

3. 主要事業の概要

【事業規模(事業費)】

(単位:千円)

事業名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 予算	備考
① 小規模企業者等設備貸与事業	1,941,743	2,017,595	1,956,806	1,995,021	小規模企業者等の経営基盤強化に必要な機械設備等を長期かつ低利で割賦販売又はリースする。
全事業合計に占める割合	41.1%	53.1%	54.0%	40.9%	
② マイドームおおさか運営管理事業	785,986	820,089	822,799	873,875	「マイドームおおさか」の展示場及び会議室等の管理・運営を行う。
全事業合計に占める割合	16.6%	21.6%	22.7%	17.9%	
③ 中小企業等金融新戦略事業	1,221,084	100,213	248,036	23,636	ポートフォリオ型融資・成長性評価融資制度事業
全事業合計に占める割合	25.9%	2.6%	6.9%	0.5%	
④ 中小企業取引振興事業	256,238	259,386	245,146	264,883	中小企業の取引あっせん、各種商談会、マッチングを実施し、販路開拓等の支援を行う。
全事業合計に占める割合	5.4%	6.8%	6.8%	5.4%	
⑤ ①～④以外の事業	515,890	602,741	349,159	1,716,689	国際ビジネス支援事業、よろず支援拠点事業、創業支援事業、「大阪産業創造館」運営管理事業など
全事業合計に占める割合	10.9%	15.9%	9.5%	35.2%	
全事業合計	4,720,941	3,800,024	3,621,946	4,874,104	
全事業合計に占める割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

【事業計画及び事業実績】

事業内容	事項	事業量		備考
		平成30年度事業量	令和元年度計画量	
1 中小企業支援サービスの向上等	1.創業支援事業	-	経営力強化件数 1,000件	
	2.経営力強化・販路開拓支援事業	-	マッチング仲介件数 3,730件	
	3.コンサルティング事業	-	マッチング成約件数 470件	
			創業件数 130件	
			新規利用者数 12,000名	
			平均顧客満足度 90%	
			通年実施	
			通年実施	
	4.大阪経済に関する調査事業	-	通年実施	
	5.新産業創造支援事業	-	通年実施	
	6.おおさかなレッジ・フロンティアプロジェクト事業	-	通年実施	
	7.インキュベーション等管理運営事業	-	通年実施	
	8.中小企業取引振興事業			
	(1) 取引あっせん事業	新規登録企業数 181件	新規登録企業数 150件	
	(2) 展示商談会事業	2回開催、出展社数:55社、15社	3回開催	
	(3) 大規模企業商談会事業	2回開催、出展社数:32社、12社	2回開催	
	(4) 広域個別商談会事業	2回開催、参加企業数:166社、127社	2回開催	
	(5) 下請取引適正化事業	1回開催、参加者数:64名	1回開催	
	9.国際ビジネス支援事業	支援斡旋件数:3,168件	支援件数:1,690件	
	(1) 国際ビジネスサポートセンターの運営	セミナー4回開催、参加者数:181名	セミナー2回開催	
	(2) 国際ビジネスサポートセンターの機能と連携する各種支援事業	アジア地域商談会4回開催、参加企業数:34社 アジア地域関連セミナー1回開催、参加者:62名 その他セミナー2回開催、参加者229名	アジア地域商談会 3地域で開催	

※平成28～30年度の数値は、旧(公財)大阪産業振興機構の数値

【事業計画及び事業実績】

事業内容	事項	事業量		備考
		平成30年度事業量	令和元年度計画量	
	10.よろず支援拠点事業	来訪相談者数:2,236件 相談対応件数:4,165件	来訪相談者数:2,400件 相談対応件数:5,000件	
	11.プッシュ型事業承継支援高度化事業	府内中小企業に対する事業継承診断の実施、セミナーの開催等 診断件数 16,435件	府内中小企業に対する事業継承診断セミナーの開催 事業承継計画策定件数 100件 専門家派遣 75回	
	12.中小企業創業等振興基金事業	おおさか地域産業資源活用サポート事業 助成実績額:57,132千円 おおさかベンチャーチャレンジFund & Fan事業 助成実績額:9,869千円	おおさか地域産業資源活用サポート事業 助成予算額:51,419千円 おおさかベンチャーチャレンジFund & Fan事業 助成予算額:20,000千円	
	13.中小企業等金融新戦略事業	(新規取扱終了済み)	(新規取扱終了済み)	
	14.ベンチャー企業支援事業	(新規取扱終了済み)	(新規取扱終了済み)	
	15.設備貸与事業	事業額:13.3億円、申込件数:115件	事業額:20億円	
	16.展示場等施設運営事業 (マイドームおおさか)	稼働率:71.6%、稼働件数:327件	稼働率:71.3%	
	17.展示場等施設運営事業 (大阪産業創造館)	—	稼働率:73.0%	
	18.大阪府出資法人キャッシュ・マネジメント・システム(CMS)事業	参加法人数:12法人 運用額:83億円	(平成30年度末に事業終了)	

※平成30年度の数値は、旧(公財)大阪産業振興機構の数値

4. 大阪府の財政的関与の状況

(単位:千円)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 予算	補助金、委託料等の内容
補 助 金	185,408	193,352	183,764	197,997	
(内訳)					
中小企業取引振興事業費補助金	84,347	89,991	87,705	89,578	下請取引振興事業及び販路開拓支援事業に対する補助
小規模企業者等設備貸与事業円滑化補助金	24,422	24,166	14,466	22,417	小規模企業者等設備貸与事業に係る貸し倒れ対応のための準備金を補助
海外事務所等運営費(国際ビジネス支援事業補助金)	30,202	30,808	33,275	35,358	国際ビジネス支援事業部門の運営に対する補助
大阪府ものづくり支援拠点(MOBIO)推進事業費	28,982	30,960	30,953	31,367	ものづくりビジネスセンター(MOBIO)の事業運営に対する補助
ものづくり企業の販路開拓支援事業補助金	14,595	14,567	14,505	16,413	ものづくりB2Bネットワーク事業に対する補助
金属系新素材試作センター運営事業費補助金	2,860	2,860	2,860	2,864	東北大学金属材料研究所と連携した府内中小企業の技術革新等の支援に対する補助
委 託 料	0	0	0	48,297	
(内訳)					
創業支援事業 (公募)	0	0	0	4,596	ビジネスプランコンテスト等を通じた有望起業家の発掘とハンズオン支援事業
大阪府プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業 (公募)	0	0	0	41,708	プロフェッショナル人材ニーズと民間人材ビジネス事業者の持つプロフェッショナル人材をマッチング
グローバル人材(外国人留学生)採用・定着支援業務 (公募)	0	0	0	1,200	府内企業と留学生のマッチングとフォローアップ体制構築
持続可能な開発目標ビジネス創出支援事業 (公募)	0	0	0	793	SDGsビジネスに挑戦する企業のスポンサーへのマッチングイベント運営
貸 付 金	1,700,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	小規模企業者等設備貸与資金貸付金 等
その他(分担金・負担金・出捐金等)	1,227,877	136,279	108,163	105,566	
(内訳)					
中小企業等金融新戦略事業損失補償金 (補償金)	1,146,559	55,175	29,223	0	ポートフォリオ型融資・成長性評価融資事業に係る損失補償金
マイドームおおさか府有部分管理費等負担金 (負担金)	46,098	49,708	47,647	59,548	マイドームおおさかの光熱水費・設備保守費用等負担金及びクリエイションコア東大阪の施設利用負担金
海外事務所等運営費(国際ビジネス支援事業負担金) (負担金)	29,836	29,635	28,952	46,018	上海事務所運営費等負担金
マイドームおおさか会場等使用料 (使用料)	5,384	1,761	2,341	0	なにわマーケティング大学2018オープンキャンパス等使用料
合 計	3,113,285	1,929,631	1,891,927	1,951,860	

府損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0
府借入金残高(期末)	21,317,898	5,168,483	5,567,990

※平成28～30年度の数値は、旧(公財)大阪産業振興機構の数値

5. 財務状況

(単位:千円)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度比増減	分析・評価
貸借対照表	資産合計	45,070,755	24,161,272	17,113,798	△ 7,047,474	<p>(未収金) 未収金の増加については、設備貸与事業において3月分の回収金の入金が翌期となったことによる増(128,597千円)が主な原因である。</p> <p>(その他流動資産) その他流動資産の減については、CMS事業の終了に伴い調達法人から短期貸付金が償還されたことによる減(7,002,808千円)が主な要因である。</p> <p>(その他固定資産) その他固定資産の増加については、運用に伴う投資有価証券の増(628,029千円)、金融新戦略事業において求償権の償却基準を見直したことに伴い求償権償却が増加したことによる長期未収金の減(343,147千円)が主な要因である。</p> <p>(短期借入金) 短期借入金の減少については、CMS事業の終了に伴い運用法人に対し短期借入金を返還したことによる減(6,860,312千円)が主な要因である。</p> <p>(その他固定負債) その他固定負債の減少については、金融新戦略事業において求償権償却が増加したことに伴う貸倒損失の増加により、財源である長期前受金が減少(225,973千円)したことが主な要因である。</p>
	流動資産	15,767,120	15,368,866	8,002,721	△ 7,366,145	
	現金預金	2,059,520	1,701,831	1,571,319	△ 130,512	
	未収金	259,600	245,976	376,575	130,599	
	その他流動資産	13,448,000	13,421,059	6,054,827	△ 7,366,232	
	固定資産	29,303,635	8,792,406	9,111,077	318,671	
	基本財産	2,345,444	2,345,855	2,346,238	383	
	特定資産	25,231,829	5,405,415	5,403,643	△ 1,772	
	その他固定資産	1,726,362	1,041,137	1,361,196	320,059	
	負債合計	36,537,281	15,847,520	8,925,938	△ 6,921,582	
	流動負債	29,387,672	8,460,741	1,863,922	△ 6,596,819	
	短期借入金	29,012,041	8,103,270	1,482,731	△ 6,620,539	
	未払金	304,058	290,570	298,758	8,188	
	その他流動負債	71,573	66,901	82,433	15,532	
固定負債	7,149,609	7,386,779	7,062,015	△ 324,764		
長期借入金	5,364,046	5,598,873	5,548,962	△ 49,911		
各種引当金	160,357	157,382	150,281	△ 7,101		
その他固定負債	1,625,206	1,630,524	1,362,772	△ 267,752		
正味財産合計	8,533,474	8,313,752	8,187,860	△ 125,892		
指定正味財産	2,832,323	2,835,317	2,820,694	△ 14,623		
一般正味財産	5,701,151	5,478,435	5,367,167	△ 111,268		

※単位未満は四捨五入を原則としたため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

※各年度の数値は、旧(公財)大阪産振機構の数値

(単位:千円)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度比増減	分析・評価
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)					
	経常収益	4,824,993	3,556,556	3,545,757	△ 10,799	(特定資産運用益) 特定資産運用益の減少については、おおさか地域創造ファンド事業の終了に伴い平成29年度末に事業資金を償還したことによる受取利息の減(155,598千円)が主な要因である。
	基本財産運用益	38,752	37,881	37,622	△ 259	
	特定資産運用益	343,202	171,951	20,558	△ 151,393	
	受取会費	0	0	0	0	(その他の収入)
	事業収益	2,966,205	2,962,801	2,971,581	8,780	その他の収入の増加については、金融新戦略事業において損失補償費が増加したことによる受取損失補償金の増(166,295千円)、設備貸与事業において消費税の納税が必要となったことによる消費税還付額の減(40,189千円)が主な要因である。
	受取補助金等	253,730	251,830	251,973	143	
	受取負担金	5,658	6,546	7,263	717	
	受取寄付金	2	11	0	△ 11	
	その他の収入(受取利息収入等)	1,217,444	125,536	256,758	131,222	(事業費)
	経常費用	4,785,406	3,866,702	3,656,428	△ 210,274	事業費の減少については、おおさか地域創造ファンド事業終了に伴う支払助成金の減(262,860千円)、設備貸与事業における貸倒引当金繰入額の減(106,218千円)、金融新戦略事業における求償権償却の増に伴う貸倒損失の増(166,295千円)が主な要因である。
	事業費	4,720,941	3,800,024	3,621,946	△ 178,078	
	管理費	64,465	66,678	34,482	△ 32,196	
	投資有価証券評価損益等	396,884	△ 989	△ 518		(管理費)
	当期経常増減額	436,471	△ 311,134	△ 111,189	199,945	管理費の減少については、人件費の配賦割合の見直しによる人件費の減(30,161千円)が主な要因である。
	経常外収益	0	92,014	0	△ 92,014	
	投資有価証券売却益等	0	92,014	0	△ 92,014	
	経常外費用	48	3,525	10	△ 3,515	(投資有価証券売却益等)
	固定資産除却損	48	3,525	10	△ 3,515	投資有価証券売却益等の減少については、平成29年度決算にベンチャー企業支援事業において投資法人が清算したことによる投資有価証券の清算益(92,014千円)が計上されていたことによるものである。
	当期経常外増減額	△ 48	88,489	△ 10	△ 88,499	
法人税、住民税及び事業税	70	70	70	0		
当期一般正味財産増減額	436,353	△ 222,716	△ 111,269	111,447	(受取補助金等)	
(指定正味財産増減の部)						
受取補助金等	24,422	24,166	14,466	△ 9,700	受取補助金等の減少については、設備貸与事業において貸与事業額が昨年度より減少したことに伴う大阪府補助金の減(9,700千円)によるものである。	
基本財産運用益	39,171	38,293	38,006	△ 287		
特定資産運用益	726	468	633	165		
一般正味財産への振替額	△ 72,940	△ 59,932	△ 67,728	△ 7,796		
当期指定正味財産増減額	△ 8,621	2,994	△ 14,623	△ 17,617		
正味財産期末残高	8,533,474	8,313,752	8,187,860	△ 125,892		

※単位未満は四捨五入を原則としたため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

※各年度の数値は、旧(公財)大阪産業振機構の数値

仕組債の保有状況	保有総額<平成30年3月31日時点>	保有総額(A)<平成31年3月31日時点>	時価評価額(B)<平成31年3月31日時点>	保有総額と時価評価額差(B)-(A)
	0	0	0	0

主な経常費用	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度比増減	分析・評価
役員人件費	20,267	20,430	20,201	△ 229	(職員人件費) 職員人件費の減少については、職員数の減少と、一部再任用への転換による減が主な要因である。
職員人件費	436,197	444,213	421,302	△ 22,911	
退職給付費用	15,937	18,331	18,648	317	(減価償却費) 減価償却費の増加については、建物設備の大規模改修により減価償却額が増加したことによるものである。
減価償却費	122,176	117,359	121,749	4,390	

主要経営指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度比増減	分析・評価
公益事業比率	公益事業費用／経常費用	80.6%	77.0%	75.8%	-1.1%	(流動比率) 流動比率の上昇については、CMS事業の終了により流動資産、流動負債が共に減少したが、流動負債の総額に占める割合が大きいため、流動比率の数値が大きく変動した。
人件費比率	人件費／経常費用	9.9%	12.5%	12.6%	0.1%	
自己収入比率	自己収入／経常収益	68.4%	89.3%	90.1%	0.8%	
流動比率	流動資産／流動負債	53.7%	181.6%	429.3%	247.7%	
借入金比率	借入金残高／負債・正味財産合計	76.3%	56.7%	41.1%	-15.6%	

※各年度の数値は、(公財)大阪産業局の数値

6. H30年度 経営目標の達成状況

I. 最重点目標(成果測定指標)								
戦略目標	成果測定指標	単位	H29実績	H30目標	H30実績 (※1)	ウェイト	得点(※2)	小計(※3)
① 中小企業支援サービスの向上	海外取引支援斡旋件数	件	2,806	2,800	3,168	35	35	35/35 【100%】
II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)								
① 中小企業支援サービスの向上	引合・商談件数	件	6,408	6,400	10,397	20	20	35/40 【88%】
	取引あっせん新規登録 企業件数	件	122	144	181	10	10	
	設備貸与事業額	億円	19.4	19.0	13.3	5	0	
	設備貸与事業申込件数	件	100	100	115	5	5	
III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)								
② 収益事業の正味財産の維持	施設運営管理会計 当期一般正味財産増減額	千円	△ 25,172	△ 30,000	16,680	20	20	25/25
③ 財務効率性の向上	引合・商談件数1件あたりコスト (引合・商談に要するコスト/引合・商談件数)	円	10,765	11,400	6,927	5	5	【100%】

※1 網掛けは目標達成項目。

※2 目標値が前年度実績以上の場合、当該年度の実績値が目標値に到達しないときでも、達成状況に応じて加点を行う。

※3 小計の【 】は得点率。

※4 各年度の数値は、旧(公財)大阪産業振興機構の数値。

7. 評価結果

法人の総合的評価結果	点数(合計)	役員業績 評価
<p>・平成29年度から最重点目標に設定した「海外取引支援斡旋件数」については、ビジネスサポートセンター体制の強化を行ったことにより、目標値を達成することができた。</p> <p>・「設備貸与事業額」「設備貸与事業申込件数」については、予算額(20億円)を超える執行ができないという中で、最大限の取組みを行ってきたが、申込の取り下げや機械の納期遅れなどによる翌年度繰り越しの発生などにより、事業額が目標達成には至らなかった。令和元年度においては、このような状況を踏まえ、より一層の利用者獲得を図るため制度周知を図り、確実な目標達成に向け継続した努力を行う。</p> <p>・「施設運営管理会計当期一般正味財産増減額」については、展示場収益が好調であったことや、費用の適正な執行に努めたことにより目標を達成することができた。</p>	95	A

8. 府の審査・評価の結果

審査の結果	経営状況、事業の実施状況その他の事項に関する府の評価結果及び指導・助言
<p>・新たにコーディネーターを1名増員し体制強化を図ったことで、最重点目標とした「海外取引支援斡旋件数」において、目標値を大幅に上回った。</p> <p>・設備貸与事業の「事業額」において、繰越案件が多く発生したことなどにより目標値を下回る結果となってしまったものの、「申込件数」は目標値を上回ることができた。</p> <p>・法人の重要な財務基盤である収益事業について、東京圏への営業を強化するなど、マイドーム事業の収益性の維持・安定及び効率的な運営により目標を上回った。</p> <p>・以上のとおり、目標達成に向けて役職員一丸となって取り組んでいる。</p> <p>・なお、公益財団法人大阪市都市型産業振興センターとの統合に向け、各種調整を円滑に行い、平成31年4月より両法人は統合し公益財団法人大阪産業局が発足した。</p>	<p>(評価)</p> <p>・最重点目標の「海外取引支援斡旋件数」については、体制強化が奏功し、目標を上回る実績をあげたことは評価できる。</p> <p>・収益事業(マイドームおおさか)については、新規顧客の獲得やリピーターの維持に取り組んだこと等により催事件数を伸ばし、「施設運営管理会計当期一般正味財産増減額」の目標を達成した。</p> <p>・一方、近年未達成が続いている「設備貸与事業額」については、設備の納期の遅れや国補助金の獲得に伴う申込みの取下げなどにより、今年度も目標未達成となった。</p> <p>(指導・助言)</p> <p>・平成31年4月の法人統合により、府市の商工施策の実現に向けてより一層大きな役割を果たすことが期待されることから、時代のニーズや事業承継などの今日的な経営課題を踏まえ、中小企業支援機能のさらなる強化に向けた検討や取組みをすすめること。</p> <p>・法人の財務基盤の安定及び公益目的事業の充実・強化を図る上で重要となる収益事業(マイドームおおさか)については、引き続き黒字の確保にかかる取組みを強化すること。</p> <p>・「設備貸与事業額」については、同様の理由による目標の未達成が続いていることから、原因を十分踏まえた対応方策を検討すること。事業実施にあたっては、引き続き、商工会等、関係機関との連携強化を図るとともに、統合した公益財団法人大阪市都市型産業振興センターが築いてきたネットワークを活用することにより利用促進を図り、小規模事業者等のニーズに対応すること。</p>

9. 「平成31年度大阪府行政経営の取組み」における方向性(平成31年2月) ※旧(公財)大阪産業振興機構の方向性

○抜本の見直し
平成31年4月に(公財)大阪市都市型産業振興センターとの統合を予定